

鎌倉市教育委員会 令和3年7月定例会会議録

- 日時 令和3年(2021年)7月21日(水)
9時30分開会 9時53分閉会
- 場所 鎌倉市役所本庁舎4階 402会議室
- 出席委員 岩岡教育長、下平委員、朝比奈委員、長尾委員、林委員
- 傍聴者 4人

○本日審議を行った案件

日程1 報告事項

- (1) 教育長報告
 - (2) 部長報告
 - (3) 課長等報告
- ア 行事予定

(令和3年(2021年)7月21日～令和3年(2021年)8月31日)

日程2 議案第12号

令和4年度(2022年度)使用教科用図書の採択について

日程3 協議事項

鎌倉市青少年問題協議会委員の推薦について

岩岡教育長

定例会開催に先立ち、令和3年(2021年)7月1日付で教育委員に就任された林委員をご紹介しますとともにご挨拶頂きたいと思う。林委員におかれては、長きに渡り鎌倉で教師を勤めて頂き、鎌倉市立山崎小学校の校長を経て、玉川大学で教員養成の立場からまた鎌倉にご尽力を頂いてきたという経緯があり、新しい教育課程の考え方や人材育成に非常に知見に富んだ方だと伺っており、大変期待をしているところである。林委員から就任のご挨拶を頂きたいと思う。

林委員

教育長から過分なお言葉を頂き感謝する。今日家を出てくる時のことであるが、昨日までツバメの巣の中に大きくなった雛が3羽いて遠くから親のツバメが見守っている姿があってよいと思っていたのであるが、今日の朝見たらもう巣が空になっていた。今日巣立ったのではないかと思った。それを見て、私も今日が初めての会議、まさに今日私も巣立ってここに参ったのであると感じた訳であるが、ツバメに応援してもらおう形でこれから参加をさせて頂きたいと思っている。ご紹介にあったように、鎌倉で育

って、鎌倉の教育に携わって参った。大学という視点からも、これからの若手教員の育成にも関わり、これからは何が大事なのか、何を育てていかなければならないのかということをととてもヒシヒシと感じている。機会があってこのようなお仕事をさせて頂くことになったので、非力ではあるが、皆様と一緒に鎌倉の子どもたちのより良い成長を支えていきたいと思う。

岩岡教育長

それでは定足数に達したので委員会は成立した。これより7月定例会を開会する。本日の会議録署名委員を下平委員にお願いします。本日の議事日程はお手元に配付したとおりである。では日程に従い議事を進める。日程の1報告事項に入る。教育長報告をする。

1 報告事項

(1) 教育長報告

岩岡教育長

夏休みに入るということで振り返ると、昨年の4月は新型コロナウイルスの感染拡大で子どもがいない4月であった訳であるが、今年はこの4月からwithコロナということで、新型コロナウイルスの感染が拡大する中でどのように教育活動をしっかりとやっていくかを学校現場で工夫しながらやってきた1か月間であり、先生方も非常に大変であったと思う。今年の1学期はもう目の回る忙しさであったとおっしゃる先生もかなりいると思うが、その中でも努力して修学旅行も小学校は行けたし、学校現場、指導にあたってくれた教育指導課、研修を行った教育センターも含めて、皆様の努力の賜物であると思うのでまずはお疲れ様であった。夏休みには、先生方はGIGAスクールを始め、色々なことについて研修をしたり、次の指導計画を単元を見通して考えたり、2学期以降のエネルギーを蓄えて頂きたいと思っているところである。

新型コロナウイルスということ言えば、また感染の拡大の状況が出てきており、例えばオリンピックに関しては学校連携観戦チケットがあり、子どもたちには本当にそのオリンピックの経験をさせてあげたい、特に野球やサッカー等そういったものを間近で見られるということは、まさに会場が近くにあるという鎌倉の地の利を生かした、本当にスペシャルな経験であったのであるが、無観客の開催となってしまい学校連携観戦チケットも無くなってしまったので、大変残念に思っているところである。また、これから感染拡大の状況も出てくると思うが、なんとか学校行事等の子どもたちの経験を無くさないように、学校現場で努力をできるように教育委員会としてもサポートしていきたいと考えている。

またGIGAスクールの関係であるが、先日、街を歩いていると校外学習でタブレットを持って歩いている子どもたちをよく見かけるようになった。

鎌倉ではiPadをLTEモデル、Wi-Fiだけではなく携帯電話の電波をキャッチできるものを入れ、それを使って鎌倉の資源を存分に生かした教育活動を展開したいということでそういった端末を入れた訳であり、少しずつ始まっているということが見られて非常に素晴らしいと思ったところである。また、先日は長崎大学の核兵器廃絶研究センターの助教授の方とオンラインで繋いでの平和学習が実現したという知らせを聞き、本当に先生方からはGIGAスクール様々だという声が聞かれた。長崎大学の先生をこうやって呼んでくるというのは限られた旅費の中ではなかなか難しいところがあるが、オンラインでやってくださるということで、しかも多くの学年の子どもたちにそういうことができたという声があっ

た。あとは講師の人を呼んできて授業をするといった時にも、通常であれば3学級でやろうと思ったら体育館でやらなくてはならない訳である。しかし、夏だと体育館は暑いし、子どもたちがメモをしようと思ったら地面に這いつくばって書かなくてはならないということで、なかなか共同的な学びをするのは難しいという場面もあるのだが、1学級、真ん中の学級にその講師の方が来て、両隣の学級にはZoomで大型電子黒板を使ってその模様を配信し、探求活動の時にはその講師の先生がよそのクラスを周りながら面倒を見るという形を普通教室で実現できていて、これも本当にGIGAスクールでないとできなかったことであると感じている。必要は発明の母と言うが、先生方がこういう授業をやりたいというものが、GIGAスクールを通じて可能となっている場面がいくつか見られるので、ぜひこういった取組の横展開を図っていききたいと改めて感じたところである。

教育長報告は以上であるが、最後に教育委員会の教育長職務代理者の指名についてご報告を差し上げたいと思う。鎌倉市教育委員会教育長職務代理者、私に事故や不幸があった際の職務代理ということであるが、斎藤委員が6月30日付で教育委員を退任されたので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により、7月1日付で新たに下平委員を職務代理者に指名したので報告をする。

(2) 部長報告

(特になし)

(3) 課長等報告

ア 行事予定(令和3年(2021年)7月21日～令和3年(2021年)8月31日)

岩岡教育長

次に報告事項のア「行事予定」について、特に伝えたい行事予定があればお願いする。

(教育文化財部)

特になし。

(質問・意見)

下平委員

ご覧頂いてお分かりのように、7月28日に先生方に対して「心を動かす話し方・表現力」というテーマで研修をさせて頂く。緊急事態宣言発令ということでオンライン、Zoom使用でできるようにも対応を考えていたのであるが、教育センターの皆様と話し合いながら、換気や感染予防対策を徹底して、できれば集合でやろうということに現状ではなっている。心が通い、動くような研修を心がけたいと思っている。本当に教育センター主導で様々な研修を企画してくださっていて、先生方も夏休みでお忙しくていらっしゃるが、本当に素晴らしいことであると感じている。

岩岡教育長

夏休みということで教育センター主催の研修等も入ってくるが、特に参加者が多いと想定されるものやオンラインの研修、あとは実地での研修というものがうまく組み合わせられてきていると思っている。

また、教育センターのサイトも立ち上がったので、自分が出られない研修の資料等も閲覧ができるという環境になってきたと考えており、ぜひ夏休みに先生方のレベルアップに生かして頂きたいと思う。大河ドラマの時期も近づいてきたこと等もあるが、文化財関係の企画展、あとは連続講座も夏にたくさん開かれるということになるので、人数が限られているが、ぜひ期待をしたいと思っているところである。

(行事予定報告はそれぞれ了承された)

2 議案第 12 号 令和 4 年度 (2022 年度) 使用教科用図書の採択について

岩岡教育長

次に日程 2 議案第 12 号に入る。「令和 4 年度 (2022 年度) 使用教科用図書の採択について」を議題とする。議案の説明をお願いします。

教育指導課長

日程 2 議案第 12 号「令和 4 年度 (2022 年度) 使用教科用図書の採択について」、内容を説明する。議案集は 5 ページから 19 ページをご参照頂きたい。4 月の教育委員会で令和 4 年度 (2022 年度) の使用教科用図書採択方針を議決頂いた。その中で、小学校用教科用図書、小学校で使用する教科用図書については令和元年度 (2019 年度) に採択した教科用図書と同一のものを採択する、中学校用教科用図書、中学校で使用する教科用図書については令和 2 年度 (2020 年度) に採択した教科用図書と同一のものを採択する、特別支援教育関係教科用図書、特別支援教育関係で使用する教科用図書については、鎌倉市特別支援学級設置校長会において、文部科学大臣から県教育委員会を通して送付された特別支援学校用小中学部の教科書目録、一般図書一覧、一般図書契約予定一覧、新たに掲載された図書等をもとに調査研究を行い、その報告を受けて採択するとしている。

従って令和 4 年度 (2022 年度) に使用する小学校及び中学校の教科用図書として、議案集の 6、7 ページに記載の別紙、令和 4 年度 (2022 年度) 使用小学校教科用図書一覧 (案) 及び令和 4 年度使用中学校教科用図書一覧 (案) の教科用図書を採択するものとして提案する。また、令和 4 年度 (2022 年度) の特別支援学級で使用する教科用図書は特別支援学級設置校長会に調査研究を依頼し、各校から提出された令和 4 年度 (2022 年度) の特別支援教育関係用教科用図書調査結果報告書を取りまとめ、特別支援学級設置校長会から一覧として報告を受けた。それが議案集 8 ページから 17 ページの一覧となっている。一点ここで訂正を申し上げる。議案集の 13 ページ上から 4 段目、種目のところが今、「音楽 器楽 1 年」と書いてあるが、正しくは「音楽 一般」になる。

(質問・意見)

岩岡教育長

確認にはなるが、教科書の採択に関しては基本的には採択地区で同一の教科書を採択する、そして4年間同一のものを採択するという事になっているのだが、特別支援教育に関しては教育課程の特例があり、その子に応じた教育課程を編制することができる事となっている以上、教科用図書についても採択を個別にできる事になっており、国の検定を得た教科書ではない一般図書もその子の教育課程に応じて教科書として採択ができる事になっている。とはいえ、一般図書に関しては体系立ててきちんと編集がされているか、教科用図書としてふさわしいかといった観点があるので、それは都道府県において調査研究等をして、一般図書の一覧を作ってもらっている。教育課程は本当に子どもによって様々なので、その中から今の子どもの状況に応じてどれがふさわしいのか各学校で選んできており、教育課程が各学校で特例を使って編制しているものなので、各学校の希望を尊重して採択をしている状況だと認識をしている。

下平委員

以前にも伺っていることであるが、採択に関しては私ども教育委員も時間をかけており、教育委員会の皆様も丁寧に、大切に選んでいるつもりなので、自信を持って使って頂きたいと思うのだが、やはり私たちが一番心配なのは、現場の先生方から何か使い勝手について、それから社会が変化する中で変更を希望する声があがらないか一番気になる場所であり、そういうものが特になければ自信を持って使い続けて頂きたいと思っている。

(採決の結果、議案第12号は原案どおり可決された)

3 協議事項 鎌倉市青少年問題協議会委員の推薦について

岩岡教育長

次に日程3協議事項「鎌倉市青少年問題協議会委員の推薦について」協議する。協議事項の説明をお願いします。

教育文化財部次長兼教育総務課長

協議事項「鎌倉市青少年問題協議会委員の推薦について」、説明する。議案集は20ページ、21ページをご覧頂きたい。この度、市長から鎌倉市青少年問題協議会委員を令和3年(2021年)8月1日に委嘱することに伴い、鎌倉市青少年問題協議会条例に基づき、鎌倉市青少年問題協議会委員の推薦について依頼があったため、その内容についてお諮りするものである。青少年問題協議会は青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき、必要な事項を調査審議すること、青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の適切な実施に期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図ることを所掌事務としている。協議会委員は青少年の育成に関係を有する団体の代表者、学識経験を有する者、関係行政機関の職員、市教育委員会委員等から15人以内をもって組織するとされている。この協議会委員については直近では平成28年度(2016年度)から令和3年度(2021年度)まで、令和3年(2021年)6月30日付で教育委員を退任された齋藤委員に務めて頂いていた。会議の開催頻

度については、令和2年度（2020年）に3回、令和元年度（2019年）に1回、平成30年度（2018年）に1回開催されており、青少年に関する議題を取り扱うことから、学校に関連した話題も出ている。また議案集21ページに記載があるとおり、事務局である青少年課からは女性委員の登用を推進している旨の連絡を受けており、可能であれば女性委員の推薦の要望がある。なお、この度の推薦依頼のあった協議会委員の任期は令和3年度（2021年）8月1日から令和5年（2023年）7月31日までの2年間となる。

（質問・意見）

岩岡教育長

この場で推薦者を協議して決定すればよいということによろしいか。

教育文化財部次長兼教育総務課長

そのとおりである。

岩岡教育長

ただ今の説明で青少年問題に関する協議の場ということで、また学校に関係することも多く出るというお話であったが、我こそはという方がいればお願いしたいと思う。

下平委員

私は齋藤委員の前に委員をさせて頂いていた。その場でつくづく感じたのは、先程お話があったように、実際に教育現場で活動しているということがあると意見も延べやすいと感じた。教育委員就任早々で大変恐縮ではあるのだが、林委員にもし引き受けて頂けるのであれば大変ありがたい、理想的であると考えているがいかがか。

林委員

引き受けたいと思う。

岩岡教育長

承知した。それでは本協議会委員の推薦については、林委員を推薦するというので事務局を進めて頂ければと思う。

（協議事項「鎌倉市青少年問題協議会委員の推薦について」、は同意された）

岩岡教育長

以上で本日の日程は全て終了した。これをもって教育委員会7月定例会を閉会とする。